

関連事業

「東アジア文化都市 2015 新潟市」では、
期間内に実行委員会の構成団体が行う文化芸術・国際交流イベントを、
既存の地域の祭りや行事なども含んで関連事業に位置づけ、
地域の特色を生かしながら、まち全体で
一体的に東アジア文化都市事業に取り組みました。
(関連事業の一覧は、資料編に掲載しています。)

地域文化イベント

北区 阿賀野川ござれや花火

阿賀野川の河口にほど近いところで開催。花火をごく間近で体験できるのが最大の特徴で、眼前に大輪の華が広がり、ドーンとおなかに響く音を体感できます。「ござれや」とは地元の言葉で、「おいでください」の意。多彩な花火により、街をあげて約20万人の来場者を歓迎しました。



東区歴史浪漫プロジェクト

東区にあったとされる説が有力な「湊足柵（ぬたりのき）」という「日本最古の城柵」と、2014年に古墳であると確認された「牡丹山諏訪神社古墳」の2つをキーワードに、地域の誇りづくりと活性化につなげるためのフォーラムや、区内をめぐるまち歩きなどさまざまなイベントを実施しました。



中央区えんでこ（まち歩き）

中央区の見どころを巡るまち歩き事業です。

新潟シティガイドの皆さんの解説を聞きながら、みなとまち新潟の歴史的・文化的な宝物に触れられるとあって、多くの申込みがありました。

英語通訳ボランティア付きのコースでは、さまざまな国からの参加者が散策を楽しみました。



江南区 かめだ梅の陣

江南区・亀田の特産・藤五郎梅をはじめ、まちの歴史や文化、産業などの地域資源を活用し、商店街や産業の活性化を図り春と初夏に実施。

多くの参加者が梅の花とともに、商店街でのギャラリーの見学などでまち歩きを楽しみ、梅実スイーツや梅実菓膳などを味わいました。



地域文化イベント

秋葉区 にいつ鉄道まつり

鉄道の要衝、「鉄道のまち」として栄えた新津の歴史と文化を広くアピールするお祭りを新津駅東口駅前広場を中心に開催。ステージイベント、駅弁販売、鉄道資料の展示、ミニS Lの走行、鉄道模型の実演走行など、鉄道一色のイベントとなりました。



南区 白根大凧合戦

越後平野を流れる大河信濃川の支流、中ノ口川（川幅約80m）の両岸から畳24畳分の大凧を揚げ、空中で絡ませ川に落とし、相手の凧網が切れるまで引き合う勇壮な世界最大スケールの大凧合戦。新潟県無形民俗文化財。5日間で48戦もの大凧の合戦が行われ、大勢の人でにぎわいました。



西区 暮らしっく広場 2015 コンサート

「西区国際音楽祭」をテーマに、新潟大学と西区役所で協働企画のコンサートや楽器体験ワークショップを実施。西区出身者を含む世界的な室内楽団など、海外アーティストの一流の演奏を身近に楽しむとともに、普段触れることのできない楽器に触れて、音楽の楽しさを感じてもらいました。



西蒲区 アートサイト岩室温泉 2015

開湯 300 年を誇る西蒲区岩室温泉の旅館に、武蔵野美術大学の卒業・修了制作展の中から選ばれた作品の展示などを行う、岩室温泉とアートの魅力を一度に感じられる芸術祭。展示のほかにも大学で行っているさまざまな授業をワークショップ形式で実施し、来場者から好評を得ました。



主な関連イベント

新潟春節祭

旧正月を祝う中国最大級のお祭を中国総領事館等との共催により新潟で初めて開催しました。中国山東省、四川省、湖南省などからシェフやアーティストを招へいし、中国の食、手工芸、伝統芸能などを披露。広く市民に中国文化を体験してもらいました。「にいがた冬 食の陣 当日座」とも連携し、来場者数は2日間で6万5千人と大変好評を得ました。



日韓アイドルコンサート in にいがた

日韓国交正常化50周年・「東アジア文化都市2015新潟市」を記念し、韓国総領事館と新潟市の文化事業として開催。新潟・Negicco、韓国・Rion Fiveら計4組のステージに、観客は自身が応援するグループ以外にもペンライトを振って声援を送っていました。エンディングでは「にいがた★JIMAN!」を出演者と来場者全員で歌い、両国の友情を深めました。



「文化プログラム」に向けたシンポジウム

スポーツの祭典であると同時に文化の祭典でもある 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会。2016 年秋から展開される予定の「文化プログラム」について、意義や最近の動き、取り組みの方向性などについて話を伺い、「オール新潟」で取り組む契機としました。



日中韓クリエイティブ・シティ・ネットワーク・フォーラム

文化芸術活動による社会課題の解決について知見を共有し、日中韓 3 か国のさらなる相互理解を促進するため、新潟市と文化庁が共催。3 か国の関係者に加え、創造都市の先駆者であるフランス・ナント市も交えてさまざまな事例報告と意見交換を行い、都市交流を継続することの重要性が確認されました。



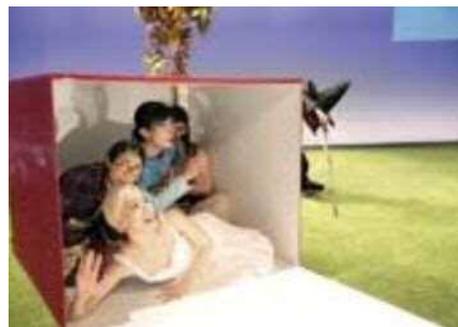
りゅーとびあ主催事業



りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館は、新潟市の音楽・舞台芸術の拠点施設として1998年に開館。年間を通じて行われる多彩な独自企画の事業を「東アジア文化都市2015新潟市」の関連事業として一体的に展開しました。

Noism

日本初の劇場専用舞踊団として2004年に設立。今なお国内唯一の公共劇場専用舞踊団として、21世紀日本の劇場文化発展の一翼を担うべく、常にクリエイティブな活動を続けています。2015年は「水と土の芸術祭2015」の一環で、さまざまなパフォーマンスプログラムを実施しました。



Noism1 近代童話劇シリーズ Vol.1 「箱入り娘」
撮影：篠山紀信

ジュニアの育成

オーケストラ、合唱、邦楽のジュニア音楽教室と演劇スタジオ キッズ・コースでジュニアを育成、定期公演も開催しています。2015年には東京、浜松から邦楽の合奏団を招き、「ジュニア邦楽合奏フェスティバル」を開催しました。



1 コイン・コンサート

りゅーとびあが全国に先駆けて2002年から実施。平日昼の1時間、1コイン（500円）で質の高い生演奏が気軽に楽しめるコンサートです。2015年で通算開催回数は80回を超えました。

